

# 眼の狩人



[眼の狩人\\_下载链接1\\_](#)

著者:大竹 昭子

出版者:筑摩書房

出版时间:2004

装帧:A6判

isbn:9784480039262

写真家とはいったい何者なのか。

東松照明、森山大道、中平卓馬、荒木経惟、篠山紀信など戦後を代表する写真家14人に取材し、写真というメディアの特性に迫るノンフィクション。

社会が大きく揺れた60年代と写真表現との関わり、時代と共にあった写真家たちの  
壮絶な生き方を描き出す、戦後写真史を知るための必読書。

写真界の怪人一東松照明

自意識を持たない凄さ一長野重一

ヒーロー・混迷・脱出一森山大道

記憶喪失を生きる神話の人一中平卓馬

中平卓馬の沖縄撮影行

小さな島から世界へ一比嘉康雄

異邦人感覚の先駆者一奈良原一高

“複雑骨折”からの出発一高梨豊

写真にことばはいらない一柳沢信

猿になって撮る一渡辺眸

旅が鍛えたことばと写真一藤原新也

写真の殉教者一深瀬昌久

“超二流”であることの自由一荒木経惟

四〇年前の写真でデビュー一桑原甲子雄

シノヤマは写真である一篠山紀信

作者介绍:

大竹昭子 [オオタケアキコ]

1950年東京生まれ。上智大学文学部卒。’79年から’81年までニューヨーク  
に滞在し、執筆活動に入る

目录:

[眼の狩人\\_ダウンロード1](#)

标签

摄影

高梨豊

長野重一

藤原新也

荒木経惟

篠山紀信

渡辺眸

深瀬昌久

评论

-----  
[眼の狩人\\_下载链接1\\_](#)

书评

-----  
[眼の狩人\\_下载链接1\\_](#)